

科目区分	基礎助産学	授業科目	助産学概論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 助産の対象や支援の基盤となる概念を理解する。 目標: 1 助産の概念を理解しチーム医療での助産業務を理解する。 2 助産師の職制と業務を理解する。 3 助産や母子保健の歴史的背景から健康支援の方向性を理解する。 4 女性と母子の人権を尊重する専門職の責務を理解する。 5 女性と母子の健康支援を支える理論及び研究の動向を理解する。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 助産の概念	2	1 出産の変遷 2 助産の定義 3 助産ケアのモデル 4 周産期医療の現状と助産の将来 ①継続的ケアと受け持ち助産師制 ②意思決定への援助 ③チーム助産、チーム医療の推進	
2 助産師の定義・業務・教育	3	1 助産師と法律 (1)わが国の法の段階構造 (2)助産師と関係法規・諸制度 2 助産師の職制としての推移と国際的な職制 3 助産師の身分 (1)助産師の定義 (2)助産師国家試験、免許申請、付与 交付、登録免許の取消、業務停止 4 助産師の業務と責務 * 受胎調節実地指導員認定講義(1) (1)保健師助産師看護師法からみた助産師の責務 (2)医師法からみた助産師の業務 (3)看護師等の人材確保の促進に関する法律からみた助産師の責務 (4)産科医療のあり方と助産師の働き方 (5)母子保健法・母体保護法・薬事法からみた助産師の業務 5 助産師教育 (1)基礎教育 (2)卒後教育 (3)わが国と諸外国の助産師教育の動向	
3 助産の歴史と母子保健の変遷	2	1 助産の歴史 (1)古代から江戸時代までの助産の変遷 (2)明治から昭和までの助産の変遷 2 母子保健の動向 (1)母子保健の歴史 (2)現在の母子保健の動向 (3)母子保健の動向と諸制度 (4)諸外国における母子保健	
4 女性の健康と人権	2	1 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ * 受胎調節実地指導員認定講義(2) 2 女性の健康に関わる権利 3 性差医療の中の女性医療	

5 助産実践と倫理	6 (2)	1 助産師の職業倫理 * 受胎調節実地指導員認定講義(1) (1)倫理の位置づけ (2)倫理原則 (3)倫理的意志決定のプロセス 2 助産倫理の主要概念 (1)インフォームド・コンセント (2)患者の権利とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ (3)守秘義務と個人情報の保護 (4)権利擁護 3 倫理綱領とガイドライン (1)助産師の倫理綱領 国際助産師連盟、日本助産師会 (2)ガイドライン (2) 4 性と生殖に関わる倫理 * 受胎調節実地指導員認定講義(2) 人工妊娠中絶、出生前診断 生殖補助技術、多胎妊娠(減胎中絶)、予後不良児 (2) 5 ペリネイタルロスとグリーフケア
6 助産学を構成する理論	4	1 助産実践を支える理論 2 対象理解に必要な理論 (1)ルービンの母性論 (2)マーサーの母親役割獲得理論 (3)愛着理論 (4)きずな理論 (5)危機理論
7 助産分野の研究	10 (2) (8)	1 助産に関する研究の動向 2 研究の意義及び倫理的配慮 3 研究への取り組み (1)課題の明確化 (2)文献検討 (3)考察 4 将来の助産師像及び自己課題
評価	1	試験
評価方法	出席状況、講義・グループワークの参加状況、レポート、筆記試験など	
テキスト参考資料	医学書院:助産学講座1 基礎助産学〔1〕助産学概論 日本看護協会出版会:助産師基礎教育テキスト第1巻 助産概論・母子保健 新日本法規:看護六法 2024年度版	
履修上の留意事項		
備考	受胎調節実地指導員の申請資格に係る講義である。 (受胎調節実地指導員認定講義カリキュラムを参照)	

科目区分	基礎助産学	授業科目	人間の性と生殖
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 性と生殖及び母子の健康に関する基礎知識を理解する。</p> <p>目標: 1 生殖に関する形態・機能を理解する。 2 遺伝と遺伝疾患を理解する。 3 生殖補助医療の現状を理解する。 4 母子の免疫学特性を理解する。 5 母子に関連する感染症を理解する。 6 母子の薬剤投与の影響を理解する。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 生殖生理	8	1 身体的特徴 (1)女性生殖器の形態と機能 (2)男性生殖器の形態と機能 2 生殖生理に関する視床下部-下垂体系機能 3 卵巣機能と卵巣機能検査法 4 妊娠成立の機序 5 胎児胎盤機能 6 乳汁分泌の生理	
2 性の分化と発達	2	1 内外性器の構造上・機能上の性分化 2 人間の性行動と男女の性反応 3 男女における性障害と性同一性障害	
3 遺伝と遺伝疾患	4	1 遺伝医学の重要性 *受胎調節実地指導員認定講義(2) 2 染色体 (1)染色体の構造と機能 (2)染色体異常 3 遺伝子 (1)遺伝子の構造と機能 (2)遺伝子異常 4 遺伝性疾患の分類 (1)常染色体優性遺伝 (2)常染色体劣性遺伝 (3)X連鎖劣性遺伝 5 出生前診断 (1)出生前診断の種類と特徴 (2)遺伝カウンセリング	
4 生殖補助医療	2	1 生殖補助医療の実際 *受胎調節実地指導員認定講義(2) (1)人工授精 (2)体外受精 (3)顕微受精 (4)配偶子・胚凍結 2 生殖補助医療の問題	
5 不妊症と不育症	2	1 不妊症・不育症の定義 *受胎調節実地指導員認定講義(2) 2 不妊症の原因(男性側・女性側) 3 不妊症の診断の進め方 4 不妊症の治療	
6 母子と免疫	2	1 免疫学概論 2 母体の免疫学的特性 (1)妊娠の成立と維持の免疫 (2)妊娠中の母体の免疫能	

		(3)母児間血液型不適合妊娠 3 胎児の免疫学特性
7 性感染症	3	1 性感染症総論 2 ウイルス感染症 3 クラミジア感染症 4 細菌感染症 5 真菌症 6 原虫症 7 寄生虫症 *受胎調節実地指導員認定講義(3)
8 母子と感染	4	1 母子感染症の重要性 2 母子感染の機序 3 母子感染総論 (1)母児の免疫応答 (2)血清抗体の意義 (3)診断法 (4)症状と予後 (5)治療及び予防 4 母子感染各論 (1)風疹ウイルス (2)単純ヘルペスウイルス (3)サイトメガロウイルス (4)水痘・帯状疱疹ウイルス (5)トキソプラズマ (6)梅毒 (7)パルボウイルス (8)B型肝炎ウイルス (9)C型肝炎ウイルス (10)成人T細胞白血病 (11)エイズウイルス (12)ヒトパピローマウイルス (13)クラミジア・トラコマティス (14)B群溶連菌感染症 (15)新型コロナウイルス感染症
9 母子と薬剤	2	1 薬剤 (1)母子への薬剤服用の原則 (2)妊婦・産婦・褥婦への薬剤と注意すべき薬剤
評価	1	試験
評価方法		出席状況、レポート、筆記試験など
テキスト 参考資料		医学書院:助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学 医学書院:助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学 メディックメディア:病気がみえる⑨婦人科・乳腺外科 メディックメディア:病気がみえる⑩産科 産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2023 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023
履修上の 留意事項		
備考		受胎調節実地指導員の申請資格に係る講義である。 (受胎調節実地指導員認定講義カリキュラムを参照)

科目区分	基礎助産学	授業科目	周産期と乳幼児の生理
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児・乳幼児期の経過を診断する基礎知識を理解する。</p> <p>目標: 1 正常な妊娠経過の診断及び検査方法を理解する。 2 正常な分娩経過の診断及び検査方法を理解する。 3 正常な産褥経過の診断及び検査方法を理解する。 4 新生児期の正常経過の診断及び検査方法を理解する。 5 乳幼児期の身体的・精神的な成長・発達を理解する。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 妊娠期の正常経過の診断	6	<p>正常な妊娠経過の診断</p> <p>1 妊娠の成立条件 *受胎調節実地指導員認定講義(1)</p> <p>2 母体の生理的変化</p> <p>(1)生殖器 (2)全身 (3)代謝 (4)糖代謝 (5)循環器・呼吸器系 (6)内分泌 (7)血液・凝固線溶系 (8)腎・尿路系 (9)消化器系 (10)神経系</p> <p>3 胎児の成長・発達</p> <p>(1)胎児の形態的発育 (2)胎児の機能的発育 (3)胎児-胎盤系の循環と呼吸</p> <p>4 胎児付属物の構造と機能</p> <p>5 妊娠期における検査</p> <p>(1)妊娠診断薬 (2)胎児胎盤機能検査 (3)胎児血採取 (4)超音波の診断法(初期・中期・後期) (5)超音波パルスドプラ法による胎児血流測定 (6)分娩監視装置による胎児モニタリング</p>	
2 分娩期の正常経過の診断	7 (4)	<p>正常な分娩経過の診断</p> <p>1 分娩の定義</p> <p>2 分娩の3要素</p> <p>(1)娩出力 (2)産道 (3)娩出物</p> <p>3 分娩が母体および胎児に及ぼす影響</p> <p>4 正常分娩の機転</p> <p>(1)正常分娩の経過 (2)子宮収縮機序 (3)産道の形成 (4)児頭の娩出機転 (5)肩甲の娩出機転 (6)胎盤の剥離と娩出</p> <p>(3) 5 分娩時の胎児管理</p> <p>(1)胎児心拍数陣痛図の読み方と対応</p>	
3 産褥期の正常経過の診断	2	<p>正常な産褥経過の診断</p> <p>1 産褥の定義</p> <p>2 身体的な変化</p> <p>(1)全身の変化 (2)子宮・膈・外陰部の変化 (3)乳房の変化、乳汁分泌 (4)性周期の発来 (5)代謝の変化</p> <p>3 心理的な変化</p>	

4 新生児期の正常経過の診断	3	<p>正常な新生児の診断方法</p> <p>1 子宮外生活への適応</p> <p>(1)呼吸器系の適応 (2)循環器系の適応</p> <p>(3)体温調節 (4)肝機能の適応</p> <p>(5)消化器系の適応 (6)水分・電解質バランスと腎機能の適応</p> <p>(7)免疫系の適応 (8)感覚器系の適応</p>
5 新生児の出生時の蘇生評価	2	<p>新生児の蘇生の必要性及び蘇生評価の方法</p> <p>1 リスク因子の確認</p> <p>2 出生時の蘇生評価</p> <p>(1)新生児仮死の病態</p> <p>(2)新生児仮死の評価方法</p> <p>3 蘇生のステップと蘇生の実際</p> <p>(1)蘇生のステップ</p> <p>(2)蘇生の初期処置</p>
6 新生児のスクリーニング	1	<p>新生児のスクリーニングの必要性</p> <p>1 胎児の発育に影響を及ぼす因子</p> <p>2 新生児スクリーニングの目的</p> <p>3 新生児スクリーニングの方法</p> <p>(1)先天性代謝異常症検査</p> <p>(2)聴力検査</p> <p>4 全身の観察</p>
7 乳幼児の成長発達	8	<p>乳幼児の身体的・精神的な成長・発達</p> <p>1 身体的な成長・発達</p> <p>2 精神的な発達</p> <p>(1)運動と精神状態の発達</p> <p>(2)発育・発達に影響する因子</p> <p>(3)母子相互作用</p>
評価	1	試験
評価方法		出席状況、レポート、筆記試験など
テキスト参考資料		<p>医学書院:助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学</p> <p>医学書院:助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期</p> <p>医学書院:助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期</p> <p>医学書院:助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期</p> <p>メジカルビュー社:図説 CTG テキスト</p> <p>日本産婦人科学会:産婦人科診療ガイドライン産科編 2023</p> <p>メディックメディア:病気がみえる⑩産科</p> <p>メディカ出版:周産期超音波の見かた</p> <p>メジカルビュー社:新生児蘇生法テキスト</p> <p>医学書院:新生児学入門</p> <p>南山堂:最新育児小児病学</p>
履修上の留意事項		
備考		

		<p>2 娩出力の異常 (1)微弱陣痛 (2)過強陣痛</p> <p>3 胎児の異常 (1)児頭骨盤不均衡 (2)進入の異常 (3)回旋の異常 (4)巨大児(肩甲難産) (5)胎児機能不全 (6)多胎妊娠</p> <p>4 胎児付属物の異常 (1)羊水の異常 (2)胎盤の異常 (3)臍帯の異常</p> <p>5 遷延分娩</p> <p>6 早産・過期産</p> <p>(3) 7 分娩に伴う損傷・偶発疾患・合併症 (1)軟産道損傷 (2)弛緩出血 (3)産科ショック 出血性ショック、羊水塞栓、DIC (4)合併症 子癇発作、子宮内反症、HELLP 症候群など</p> <p>8 産科的医療処置と適応の判断 (1)分娩誘発・促進法 (2)骨盤位娩出術 (3)クリステル胎児圧出法 (4)鉗子遂娩術 (5)吸引遂娩術 (6)帝王切開術 (7)会陰切開術 (8)双合子宮圧迫法 (9)内回転術、臍帯還納術 (10)産科麻酔 (11)救急処置 (12)無痛分娩</p>
4 産褥期の異常	2	<p>1 身体的な問題 (1)子宮復古不全 (2)産褥出血 (3)産褥熱 (4)血栓性静脈炎・深部静脈血栓症 (5)尿路感染症 (6)尿閉 (7)血腫 (8)乳腺炎、乳汁分泌異常</p> <p>2 精神的な問題 (1)マタニティブルーズ (2)産後うつ病 (3)産褥精神病</p> <p>3 産褥後遺症 (1)妊娠高血圧症候群後遺症 (2)糖尿病 (3)心疾患</p>

5 新生児期の異常	6	1 新生児の異常徴候 2 新生児の疾患 (1)分娩損傷 (2)新生児仮死 (3)呼吸障害 ①呼吸窮迫症候群 ②一過性多呼吸 ③胎便吸引症候群 (4)代謝障害 ①低カルシウム血症 ②低血糖 (5)感染症 (6)消化器障害 (7)血液と血管系障害 ①新生児溶血性疾患 ②新生児高ビリルビン血症 ③新生児出血性疾患 (8)その他 ①脳性麻痺 ②新生児期のけいれん ③皮膚疾患 ④眼疾患 3 病的黄疸 4 先天性疾患 5 低出生体重児・早産児 (1)低出生体重児および早産児の定義 (2)低出生体重児の特徴 (3)低出生体重児に起こりやすい合併症 (4)予後 6 急変時の対応
6 乳幼児期の異常	4	1 呼吸器・循環器・消化器の主な病態 2 感染症、ウイルス感染症、細菌感染症 3 アレルギー疾患 4 中枢神経疾患 5 乳幼児突然死症候群(SIDS) 6 予防接種の種類と接種法
評価	1	試験
評価方法	出席状況、レポート、筆記試験など	
テキスト参考資料	医学書院:助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学 医学書院:助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期 医学書院:助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期 医学書院:助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期 日本看護協会出版会:助産基礎教育テキスト7ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023 医学書院:新生児学入門 南山堂:最新育児小児病学 メディカ出版:バリネイタルケア夏季増刊 助産師の腕が試されるとき! 無痛分娩パーフェクトガイド	
履修上の留意事項		
備考		

科目区分	基礎助産学	授業科目	母子の健康科学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 母子の健康に関わる環境要因や諸要素が身体・心理・社会・文化的側面への影響を理解する。</p> <p>目標: 1 母子の健康に必要な生活環境を理解する。 2 母子の栄養の意義および栄養に関する基礎知識を理解する。 3 ライフサイクルにおける栄養管理の特性を理解する。 4 母子の歯科保健の意義および基礎知識を理解する。 5 母子の補完代替医療に関する基礎知識を理解する。 6 妊産婦の運動に関する基礎知識を理解する。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 母子と生活環境	4 (2)	1 物理的要因 (1)放射線 (2)非電離放射線 (3)騒音 2 化学的要因 (1)国内外の環境問題の歴史 (2)大気汚染 (3)食品保健 (4)微量化学物質と子どもの健康 (5)水道 3 母子と依存性物質 (1)アルコール (2)依存性薬物 (3)タバコ	
2 母子と栄養	10	1 母子の健康と食生活 (1)妊娠期・授乳期の栄養と食生活 (2)栄養に関する基礎知識 (3)「日本人の食事摂取基準」の基礎知識 (4)栄養状態の評価 2 妊婦の栄養 (1)妊婦の栄養と食生活 (2)母体の栄養と胎児の発育 (3)妊産婦のための食生活指針 3 授乳婦の栄養 (1)授乳期の食事と母乳分泌 (2)妊娠糖尿病既往女性の出産後の留意点 4 乳幼児の栄養 (1)乳幼児の発育・発達の特徴と食生活の意義 (2)母乳・人工栄養、離乳期の栄養 (3)幼児期の食と栄養 (4)乳幼児期の病態栄養 5 学童・思春期の子どもの栄養 (1)栄養の観点からみた学童期・思春期の特徴 (2)学童期・思春期における食生活の問題と健康への配慮	

3 母子の歯科保健	3	1 歯、口腔の発育・発達と母子の歯科保健 (1)歯、口腔の発生・発育とその異常 (2)摂食と口腔機能の発達 (3)乳幼児の齲蝕 (4)妊婦・産後の歯科保健
4 母子と補完代替療法	8 (4) (2) (2)	1 東洋医学 (1)東洋医学と鍼灸医学 (2)鍼灸医学における治療手段と方針 (3)東洋医学における女性のからだ (4)助産技術に応用する鍼灸(ツボ)療法 2 アロマセラピー (1)アロマセラピーの概要 ①アロマセラピーとは ②精油の性質と作用・副作用 (2)産科領域での取り組み ①アロママッサージ ②リフレクソロジー 3 タッチケア (1)タッチケアの概要 (2)タッチケアの効果と実際
5 母子と運動	4	1 妊産婦の運動生理学 (1)妊婦スポーツの目的 (2)運動に対する母体・胎児の反応 (3)妊婦スポーツのガイドライン 2 妊産婦の運動の実際 (1)身体活動とメッツ (2)エクササイズの種類 ①有酸素運動 ②筋カトレーニング ③ストレッチング
評価	1	試験
評価方法		出席状況、レポート、筆記試験、演習など
テキスト参考資料		医学書院:助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学
履修上の留意事項		
備考		

科目区分	基礎助産学	授業科目	家族社会学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	1年次
目的: 家族と社会の関係や家族間の特性を理解する。 目標: 1 親子関係の現状と課題を理解する。 2 家族機能の変化や家族の支援体制を理解する。			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 家族関係の発達と課題	8	1 母子関係の形成と課題 (1)母性の発達課題 (2)妊娠期の母子関係 (3)新生児・乳幼児期の母子関係 (4)母子関係の病理 (5)さまざまな状況で子育てする母親の心理 2 父子関係の形成と課題 (1)父性の発達 (2)父子関係と子どもの発達 (3)父親のメンタルヘルスと家族へのリスク 3 夫婦関係と子どもの発達 (1)夫婦関係の形成と発達 (2)夫婦関係と子どもの発達 (3)ひとり親家庭の問題 (4)夫婦関係と個人の病理	
2 家族と社会	6	1 家族の機能と役割 (1)家族の定義 (2)家族を分析する基本概念 (3)家族の機能 (4)家族の役割と家族の発達課題 2 家族の変化 (1)近代家族の成立 (2)近代家族から現代家族へ 3 現代における家族の再編 (1)個人化する家族 (2)ケアされる権利・ケアする権利 (3)ワーク・ライフ・バランスの実現 (4)福祉レジームとワーク・ライフ・バランス (5)男女による「分業」から男女による「共有」へ 4 家族と法 (1)戦後日本における家族法の歴史 (2)現行家族法の基本ルールと問題点 (3)家族法の現代的課題 5 母親と社会 (1)社会学・ジェンダー論からみた母性 (2)共同体のなかの母親 (3)近代化のなかの母親 (4)現代の母親 6 父親と社会 (1)歴史のなかの父親 (2)現代社会のなかの父親 (3)日本の父親と世界の父親	

評価	1	試験
評価方法	出席状況、レポート、筆記試験など	
テキスト 参考資料	医学書院:助産学講座 4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学	
履修上の 留意事項		
備考		

科目区分	基礎助産学	授業科目	ウイメンズヘルス
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 女性のライフサイクル各期の身体的・心理的特性と課題を理解する。 目標: 1 女性のライフサイクルにおける身体的特性と特有な疾患・治療を理解する。 2 女性のライフサイクルにおける心理的特性、健康問題及び継続的支援を理解する。 3 家族計画の意義と受胎調節の方法を理解する。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 女性のライフサイクルの身体的な特性	6	<p>1 思春期・成熟期女性に特有な健康障害</p> <p>(1)性器の奇形・異常 (2)初経(早発月経、遅発月経) (3)月経周期の異常(月経不順、稀発月経、無月経)、体重減少性無月経 (4)月経困難症 (5)月経前症候群(PMS)、月経前不快気分障害(PMDD) (6)過多月経、過少月経 (7)多嚢泡性卵巣症候群(PCOS)</p> <p>2 更年期・老年期女性に特有な健康障害</p> <p>(1)閉経、更年期障害 (2)脂質異常症、糖尿病 (3)萎縮性膀胱炎 (4)排尿障害、尿失禁、過活動膀胱 (5)骨盤臓器脱 (6)骨粗鬆症</p> <p>3 女性生殖器と乳房の疾患</p> <p>(1)女性生殖器の疾患 ①子宮腫瘍(がん、肉腫、子宮筋腫、子宮腺筋症、ポリープ) ②卵巣腫瘍、良性卵巣腫瘍 ③子宮内膜症</p> <p>(2)乳房疾患 ①乳癌 ②良性乳腺疾患</p> <p>(3)検査法 ①基本的な診察(視診、触診、腔鏡診、内診) ②子宮頸部細胞診 *演習1時間 ③膣分泌物等を用いた検査(鏡検、培養) ④超音波検査法 ⑤MRI ⑥マンモグラフィー</p>	
2 女性のライフサイクルにおける心理的・社会的特性	10 (8) (2)	<p>1 女性の心理的・社会的特性</p> <p>(1)成長・発達における心理的・社会的特性及び支援 ①思春期の身体発育・性的成熟とその心理的受容 ②対人関係の発達(親子関係・友人関係) ③親準備性の発達 ④ジェンダー・アイデンティティの発達 ⑤セクシュアリティの発達 ⑥性的指向・性自認の多様性</p> <p>(2)女性のライフサイクルにおける健康課題と支援 ①やせ、肥満 ②ハラスメント(セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント等) ③更年期症状・障害、更年期・老年期の抑うつ</p> <p>2 女性への暴力と健康課題</p> <p>(1)ドメスティック・バイオレンス(DV) (2)性暴力、性犯罪</p>	

